

○令和4年度 教育事業

「 地域探究プログラム with 剣淵高校 」(R4.9. 23 (水) ~25 (金))

◆目的

高校生が地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動をととして、問題発見・解決能力を身に付け、新たな価値を創造する人材の育成に資する。

◆参加実績

北海道剣淵高等学校2年生 未来のしんろコース 4名

◆プログラム

① 顕彰制度ガイダンス・アイスブレイク (90分)

大雪職員が、全国高校生体験活動顕彰制度の趣旨やオリエンテーション合宿の流れを説明し、活動の見通しをもたせた。その後アイスブレイクのゲームを行い、参加者と職員との緊張感を解消し、話しやすい雰囲気をつくった。



② 畑DEフットパス (180分)

美瑛町で観光ガイドを務める小倉氏を講師として招き、美瑛町の観光業の概要と、観光によって発生している問題についての講義を受けた。

当日は雨天であったため、畑を散策するプログラムを変更して美瑛町郷土学館美宙、拓真館に行き、展示を見ながら講師の解説を聞いた。



③ 1日目まとめ (60分)

この日に学んだ内容を全員で共有・発表し、翌日の活動への見通しをもった。

④ 美瑛町で働く方々と座談会 (180分)

美瑛町内にある喫茶店を会場として使用し、美瑛町在住の方に、町の魅力や今の仕事を選んだ理由等を座談会の形式で聞いた。

⑤ 話題の場所に行ってみよう (180分)

前日の講義や座談会で出てきた美瑛町の観光名所や魅力的な場所を回り、実際に自分たちの目で見て町の魅力を確認した。



⑥ 2日目まとめ (60分)

この日に学んだ内容を全員で共有・発表し、今後の活動への見通しをもった。

⑦ 2日間のまとめ (60分)

この2日間を通してどのようなことを学んだのか・なぜ美瑛町には観光客が多いのかについて全員で考え、共有・発表した。

⑧ 剣淵町のためにできること (60分)

2日間の学びを生かして、剣淵町を活性化させるためにどのようなことができるかを考えて共有・発表した。

◆事業運営・企画のポイント

- 美瑛町について学ぶことで、美瑛町と比較して剣淵町をとらえることができ、客観的な視点から考えることができた。
- 1日目で町の自然や産業、観光について学び、2日目に町で働く人々と話をする活動を通して、町を多角的にみることができた。

◆参加者の声

- 3日間の旅でいろいろなことを学べた。美瑛町の自然のよさや街並みのすばらしさを学べた。剣淵町も美瑛町のようなすばらしい町になるようにしていきたい。
- 美瑛町の発展の理由やストーリー、美瑛町の人々の考えなどを学んだ。

◆事業の成果

- ① 生徒が、剣淵町の中心街に入るためには国道から曲がらないといけないことや、町に何度も来たくなくなるものがないことなどの課題に気づくことができた。
- ② 学校と協議を重ね、学校の要望やカリキュラムに合わせたプログラムを提案し、実施することができた。

